

レースにあたっての審判上の諸注意

今大会は、日本ボート協会競漕規則（2022年4月施行）、大会要項（当日の申し合わせ含む）、ならびに以下の諸注意に基づいてレースを運営します。よく理解してレースに臨んでください。

1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催に参加してください。熱中症はもちろん、コロナウイルス感染防止への対策も怠らないこと。また、発熱での来場および出漕は絶対に避けてください。乗艇中に体調不良となった場合は無理せず、必ず最寄りの審判員またはその他の役員に申し出てください。

2. 事故防止と安全確保、航行ルールの遵守について

- ① 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全最優先で行動してください。安全については、各クルーが自主的に対策を確実に行ってください。
- ② レース前の練習およびレース後の回漕については、決められた航行ルールを守り、周囲の安全を確認した上で行ってください。また、危険水域や規定の棧橋以外には行かないでください。気象の変化や風・波等にも注意し、大会本部等から指示がある場合は、これに従ってください。
- ③ レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合にはレースを中止することがあります。
- ④ 練習中のクルーおよびコース沿いを回漕するクルーは、レース艇が近づいた場合、レースの100m手前から最終クルーが通過するまでの間、その場に停止しておいてください。これに違反した場合はイエローカードが与えられます。
- ⑤ 練習中又は回漕中に航行規則を守らず接触・衝突等したクルーにはイエローカードを与え、重大な場合はレッドカードを与え除外とします。
航行ルールについては、別添の「久々子湖航行ルール（練習時、レース時）」を十分確認してください。
- ⑥ すべてのレース艇は、艇首に直径4cm以上のゴム又はこれに類似する材質で、中空でない白色のバウボールを取り付けていなければなりません。これに違反したクルーは失格となります。
- ⑦ 落水時、ストレッチャーから足が抜けず危険な状況も想定されるので、適切な長さのヒールローブが付けられているか、もしくはフットストレッチャーから速やかに離脱することができる形式のものを必ず使用してください。

3. 各種手続き（届け出）について

- ① 棄権・メンバー変更・ブレード変更（不統一）の届け出や願いの手続きは、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順で行ってください。
- ② シート変更（漕手間の変更）については、事前に届け出る必要はありません。

4. 舵手計量について

- ① 舵手の体重は、ユニフォームを含め、男子55kg以上、女子50kg以上とし、これに満たない場合は最大15kgのデッドウェイトを舵手の最も近いところに置かなければなりません。
計量は、今大会においては、大会初日に各自の最初のレースの2時間前から1時間前までに、B&G艇庫1階でレースに出漕する服装で計量を受けてください。（中学生は除きます）
- ② 規定の時間内に計量を行わないと失格となりますので時間を厳守してください。
- ③ 計量所付近での飲食は禁止とします。
- ④ デッドウェイトの携行を命ぜられたクルーが、携行せずにレースに出漕すればレッドカードが与えられ、除外となります。

5. ユニフォームおよび服装について

- ① クルーは出漕に際し、統一したユニフォームを着用してください。（「統一したユニフォーム」とは、「外見が全く同じもの」のことであり、色あせ、迷彩模様・幾何学模様、個人名、イニシャル、ポジション名等の記載（刺繍）には注意してください。）
また、ユニフォームの他に着用する帽子・鉢巻、アンダーシャツ、アンダーレギンス、靴下なども統一されていなければなりません。
- ② 帽子・鉢巻については、クルー内で着用する者としめない者があっても不問とします。ただし、着用する場合は、漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。
- ③ 以下のパーソナルアイテム（装着品）は統一されている必要はありません。
例：眼鏡・サングラス、ネックレスなどのアクセサリ類、腕時計、指輪、手袋、サポーター、リストバンド、包帯など。

6. コースへの侵入について

前のレースがスタートし 200m を通過すると、発艇員は次のレースのクルーをコースへ呼び込みします。その呼び込みを受けてから指示されたレーンに速やかに進入しステイクボートにつけてください。

7. 発艇定刻の厳守と発艇について

- ① 各クルーは発艇定刻 2 分前までに所定の発艇位置（ステイクボート）につけてください。特段の事情がない限り、遅れた場合はイエローカードを与えます。艇の故障等で間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。ただし、申し出ても発艇定刻は概ね 1 レース程度しか変更しません。また、許可なく発艇定刻に遅れ、レースに参加できなかったクルーは DNS (Did not start) となります。
- ② 発艇定刻 2 分前になったらいつでも発艇できるように準備をし、各クルーの責任で進行方向を定めておいてください。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。
- ③ 発艇号令は、次の手順で行います。

通常のスタート : 「ロールコール」 → 「アテンション」 → 発艇旗を挙げる → 「ゴー」の発声と同時に発艇旗を振り下す
クイックスタート : (ロールコールなし) → 「オールクルーズ」 → 「アテンション」 → 発艇旗を挙げる → 「ゴー」の発声と同時に発艇旗を振り下す

8. レース中の留意事項について

- ① レース中に艇の故障およびオールの破損等が生じても特別な救済措置はありません。また、これに関する異議は認められません。故障や不具合が生じないように各クルーの責任で十分に点検しておいてください。
- ② すべてのクルーは自己のレーンを進行しなければなりません。他のレーンへの侵害や、他艇に妨害を及ぼす危険のあるクルーに対し、主審が警告することがあります。この場合、主審は白旗を掲げクルー名をコールします。また、主審はレース中、障害物の出現や衝突等の危険が切迫しているクルーに対し、状況によっては白旗を掲げ「〇〇止まれ！」のコールをし、当該クルーのみに停止を求めることがあります。この場合は主審の指示に従ってください。
何らかの理由でレース全体を止める場合は、主審が赤旗を振り、鐘を鳴らし、「止まれ」と指示します。
- ③ 主審艇はレース状況により、遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることがあります。

9. レース中の選手の落水について

レース中に漕手が落水（転覆）した場合、自力で速やかに乗艇（回復）し決勝線を通過すれば着順を認めます。ただし、舵手を欠いて決勝戦を通過したクルーは失格となります。また、自力での乗艇に手間取り次のレースに支障をきたすときや、安全上の問題があると審判員が判断したときには救助します。この場合、DNF (Did not finish) となります。

10. 指導・警告・除外とその取り扱いについて

- ① クルーが違反・不正行為などを行った場合、指導や警告（注意・イエローカード・レッドカード）が与えられます。同一ラウンド内でイエローカードが 2 回与えられるとレッドカード（除外）となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判から該当色のカードが提示されます。
- ② 大会期間中の航行ルールを守らなかった場合などには、指導やイエローカードが与えられます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が警告対象と判断した場合はイエローカードを与えることがあります。

11. レース終了後について

- ① 決勝線を通過したクルーは、全クルーが通過し、主審が旗を掲げるまでゴール付近で待機してください。
- ② レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に手を挙げて主審に申し出てください。主審から白旗が揚がった場合はレース成立ですが、赤旗が揚がった場合は、レースに何らかの問題があったことを示していますので、その場にとどまり主審の指示を待ってください。

12. 伴走の禁止

当コースに添った遊歩道での自転車等の乗り物による伴走は禁止です。伴走を発見した場合、競漕委員会は当該団体に対し、適切な処置を行うことがあります。

13. その他

- ① レースに参加するために出艇する艇内に無線通信機器（携帯電話・トランシーバー等の外部と通信できるもの、その機能のあるもの）を持込むこと及び岸から拡声器又は無線通信で指示を与えることは厳禁とし、これに違反した場合は失格とします。
- ② 各クルーはバウナンバープレートを必ず艇首に取りつけ、テープ等で固定してください。